播磨臨海地域道路

兵　　庫　　県

※ルートは今後、地域の皆様のご意見や関係機関との調整により変更となる可能性があります。

計画概要

■播磨臨海地域道路

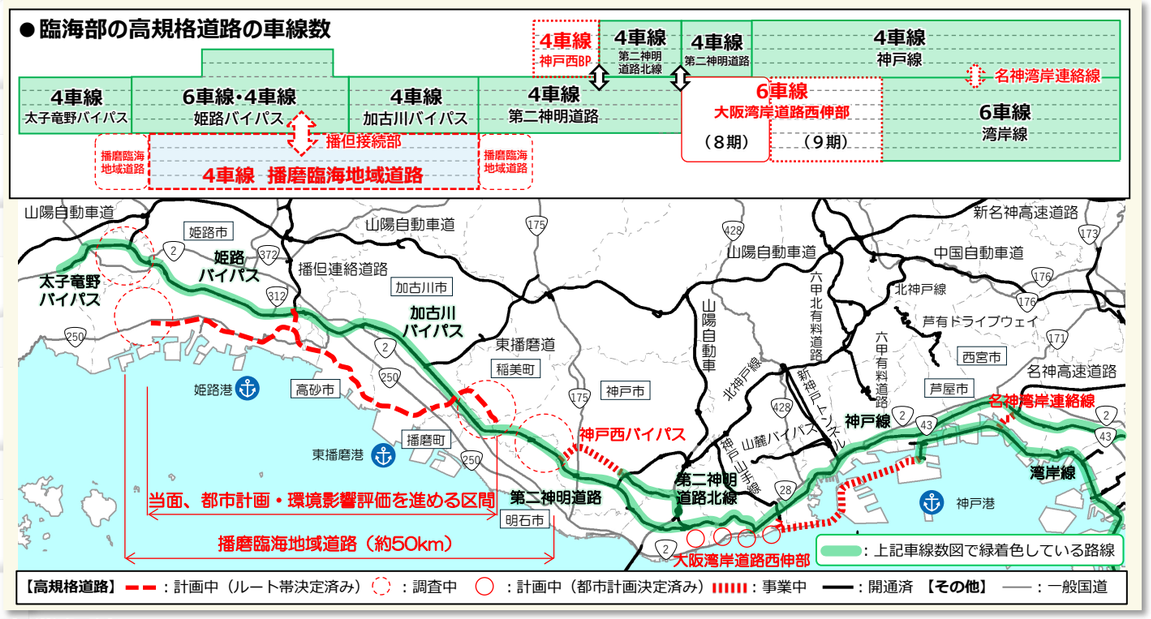
播磨臨海地域道路は神戸市西区～太子町を結ぶ、延長約50kmの自動車専用道路です。現在はそのうち第二神明道路から姫路市広畑までの区間を「当面、都市計画・環境影響評価を進める区間」とし、手続を進めています。

播磨臨海地域では、国道2号バイパス※や国道250号に交通が集中し、慢性的な交通渋滞や交通事故の発生が課題となっており、さらに臨海部における物流の効率化や南海トラフ巨大地震等への対策が求められています。

播磨臨海地域道路はこれらを解決するために新たな高規格道路として計画された道路です。

※加古川バイパス・姫路バイパス・太子竜野バイパス


国道2号バイパス（姫路東ランプ付近）



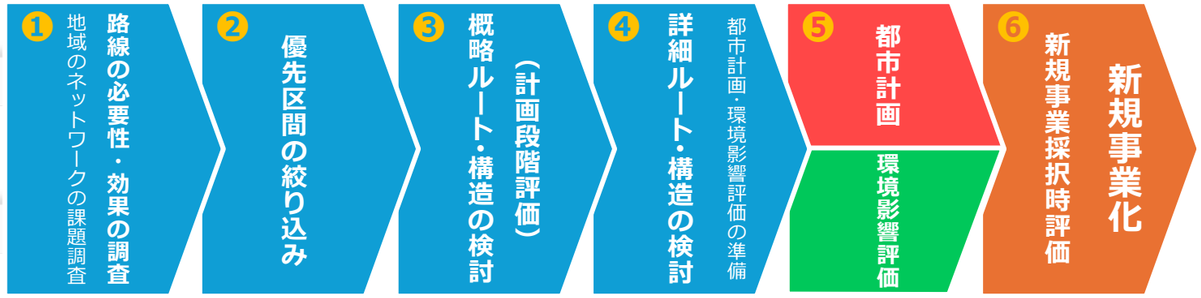
■事業経緯

青字：道路事業に関連する項目　緑字：環境影響評価に関連する項目　赤字：都市計画手続に関連する項目

平成25年	12月	優先区間の絞り込み手続を開始
平成28年	5月	第二神明道路～広畑間を「当面、都市計画・環境影響評価を進める区間」に決定
平成29年	3月	計画段階評価手続を開始
令和 2 年	8~9月	計画段階環境配慮書の公表
令和 2 年	11月	ルート帯（内陸・加古川ルート）の決定
令和 3 年	7~8月	環境影響評価方法書の公告・縦覧（住民説明会の開催）
令和 4 年	11月	ルート計画案手交（国土交通省から詳細ルート･構造に関する調査結果を手交）
令和 5 年	11~12月	都市計画に係る住民説明会（本線）の開催
令和 6 年	7~9月	都市計画に係る住民説明会（アクセス道路等）の開催
令和 7 年	6月	都市計画に係る公聴会の開催

■事業化までの流れ

播磨臨海地域道路の新規事業化に向けて、「都市計画・環境影響評価」を進めています。



地域の課題

播磨臨海地域では東西を結ぶ主要路線として姫路・加古川バイパスがありますが、渋滞や交通事故など様々な課題を抱えており、抜本的な対策が必要です。

【慢性的な交通渋滞】

姫路・加古川バイパスでは渋滞により1年に**約265万時間**※1の損失（区間別集計・全区間合計）

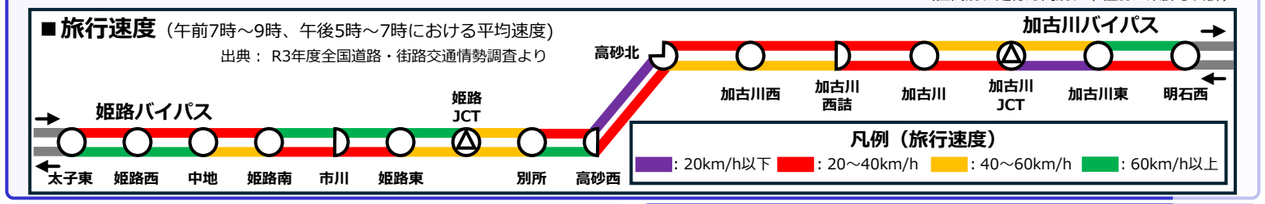
※1 年間渋滞損失時間＝平日昼間12時間あたりの渋滞損失時間(※2) × 365日

※2 $\sum_{i=1}^{12}\left\{\left(\frac{\text{区間の距離}}{\text{i 時台のR3センサス旅行速度}}-\frac{\text{区間の距離}}{40\text{km/h}}\right)\times \text{i 時台区間交通量}\times \text{平均乗車人数}\right\}$

（区間別、走行方向別、車種別に集計し合計）

■旅行速度（午前7時～9時、午後5時～7時における平均速度）

出典： R3年度全国道路・街路交通情勢調査より



【不足する交通容量】

姫路・加古川バイパスの**交通容量は大きく不足**



〈休日〉

令和7年ゴールデンウィークの平均交通量は直轄国道の中で

全国第5位

加古川バイパス（80,400台/日）

円滑な観光周遊を阻害

出典：R3年度全国道路・街路交通情勢調査より

出典：国土交通省記者発表資料より

【多発する交通事故】

姫路・加古川バイパスでは1日あたり
約3.5件の事故が発生（人身事故・物件事故計）

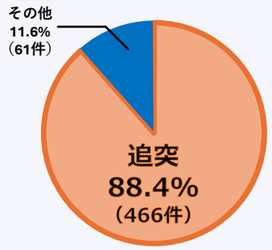


図 姫路バイパス・加古川バイパスの人身事故原因種別割合(R4～R6年)

人身事故はR4～R6の3年間で527件発生。そのうち速度低下が原因と考えられる**追突事故が約9割**

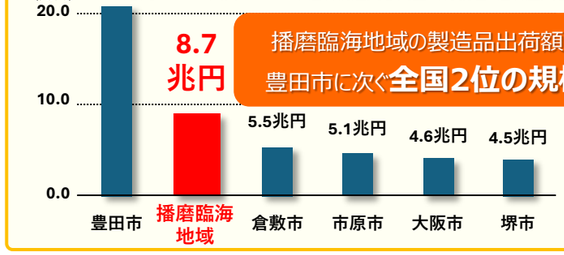
出典：兵庫県警提供資料より

期待される効果

播磨臨海地域道路の整備によって、姫路・加古川バイパス等に集中している交通が転換することはもちろん、様々な効果が期待されます。

◆製造業の活性化・投資促進◆

※出典：2024年経済構造実態調査（総務省・経済産業省）より



播磨臨海地域の製造品出荷額は豊田市に次ぐ**全国2位の規模**

◆代替路の確保◆

国道2号バイパスとのダブルネットワークを形成することで、通行止時における**代替路が確保可能に**





◆3次医療圏域の拡大◆

播磨臨海地域道路整備による3次医療施設の30分圏域比較

☆:3次医療施設　:現況　:整備後の拡大範囲

播磨臨海地域道路（32km区間）を整備することで3次救急医療施設の30分圏域面積が**約1割拡大**



新たに**約7万人をカバー**

出典：NITAS（現況：2021年3月時点、将来：2021年3月時点＋播磨臨海地域道路）

◆観光周遊の促進◆

姫路城⇔三宮中心部平均所要時間

整備前　**約90分**

整備後　**約70分**

【算出方法】
▼整備前
平均旅行速度※より算定
▼整備後
交通量と走行速度の関係を表す式をもとに、兵庫県で試算（一部は旅行速度※より算定）
※出典：R3年度全国道路・街路交通情勢調査より

姫路城～三宮中心部間の所要時間が**約20分短縮**

供用までの流れ

道路計画の検討

- 優先区間の絞り込み
- 計画段階評価（ルート帯決定）
- ルート計画案手交

都市計画手続

- 説明会
- 公聴会
- 都市計画案の作成
- 都市計画案の公告・縦覧・意見書の受付

環境影響評価手続

- **配慮書※公表**
  ※事業の計画初期段階で環境にどのような配慮が必要か整理した図書
- **方法書※の公告・縦覧・意見書の受付／説明会**
  ※事業の概要、区域の状況、調査・予測・評価の手法を示した図書
- **環境影響評価の実施（調査・予測・評価）**
- **準備書※の作成**
  ※実施した調査・予測・評価及び保全対策の検討結果をまとめた図書

同時縦覧（1か月）

- **準備書の公告・縦覧・意見書の受付／説明会**
- **評価書※の作成**
  ※準備書に対する意見を踏まえ、必要な修正を加えた最終版の図書

【都市計画審議会】都市計画案・評価書の付議

- 都市計画決定の告示・縦覧
- **都市計画決定**
- 評価書の公告・縦覧

都市計画決定後の流れ

新規事業採択時評価

新規事業着手

測量・調査	現地で測量や地質調査等を実施
詳細設計	現地のデータ(測量・調査結果)に基づき設計
用地幅杭設置	道路に必要な範囲を用地幅杭で現地に示す
用地測量・調査	土地や建物の調査(土地の境界確認)
用地交渉・契約	関係者と用地補償の協議・契約
工事	周辺環境や安全性に配慮し実施

供用開始

■現在の取り組み



令和7年6月15日　播磨臨海地域道路（第二神明～広畑）都市計画に係る公聴会（東播会場）



令和5年7月22日　播磨臨海地域道路整備促進大会（高砂市）

手続の状況や各手続の詳細はこちらから（兵庫県都市計画課HP）

兵庫県　土木部　道路企画課
〒650-8567　神戸市中央区下山手通5-10-1
TEL：078-362-9243

発行日：令和8年10月23日

兵庫県道路企画課HP

HYOGO_DOBOKU

“兵庫県土木部”インスタグラムフォローをお願いします！